

「地域課題分野」(平成27年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
局地的豪雨の時空間分布を考慮した洪水氾濫のリスク評価 (研究期間：H27年～H29年)	北海道大学 山田 朋人	A
<研究概要> 当該年度は以下の研究内容を実施した。 i) 領域気象モデルを用いた過去および将来気候を対象とした力学的ダウンスケールによる再現・予測の実施。時空間的に高解像度かつ大量アンサンブルの適用による気候場の自由度を考慮した検討。 ii) 極値統計理論である確率限界法検定に基づく確率分布モデルを提案し、信頼区間を導入した新しい水文頻度解析を提案した。 iii) 豊平川流域を対象とした降雨ならびに流出特性に起因する不確実性を考慮した内外水同時氾濫解析モデルを構築し、浸水リスクを踏まえた対策優先度の設定手法を提案した。		
<事後評価コメント> さまざまな諸元の揺らぎを考慮した洪水、氾濫リスク評価が達成され、不確実性の考慮について河川管理に対する新たな問題提起がなされており、研究目的は達成され十分な成果があったと言える。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い